

# 【参考①】シカ等野生鳥獣による森林被害(1/2)

- 近年、野生鳥獣の増加と生息域が拡大
- シカ等の野生鳥獣による森林被害が新たな地域で発生する傾向
- 全国で年間約5～7千ヘクタールの被害あり
- 被害面積のうちシカによる枝葉や樹皮への食害が約7割を占める
- シカは、食物となる下層植生が豊富にある伐採跡地や、姿を隠せる樹林が混在する、モザイク的な森林環境を好む傾向

## ◆野生鳥獣による森林被害とは

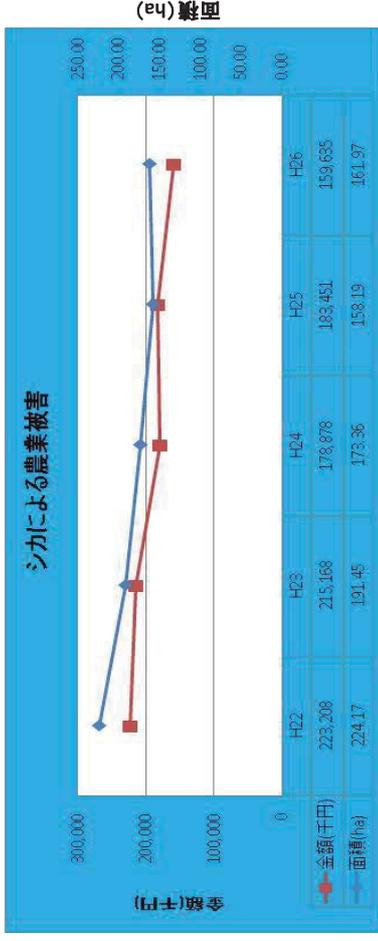
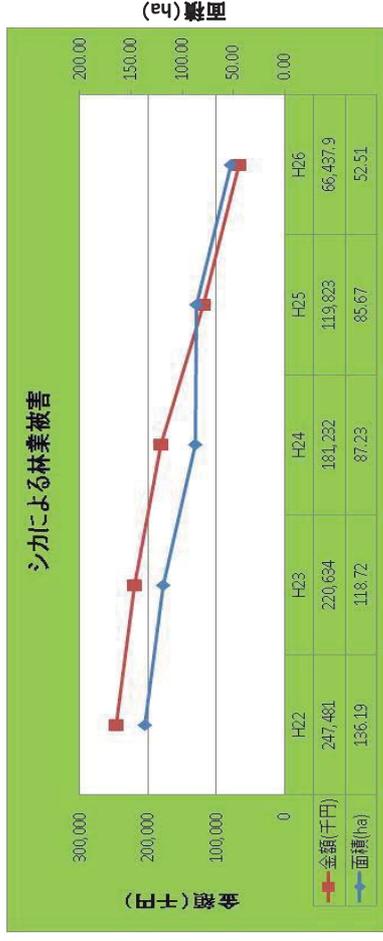
- スギ、ヒノキ等の苗木の食害
- 樹皮剥ぎ
  - ・人工林、天然林問わず幹や根元の樹皮が食べられることによる枯死
- 生態系への影響
  - ・下層植生が食べられることによる地表植物の消失
- 土壌の流出
  - ・下層植生や林床の落ち葉が食べられることにより、地表面が裸地化することにより表面流が増加し、土壌が流出

## ◆獣害対策の方法

- 捕獲(銃、わななど)
- 防除(獣害防護柵など)
- 生息環境の保全

シカによる  
H26被害額  
約2.3億円

## ◆シカ等による鳥獣被害の推移(兵庫県)



枯れ・枯死



樹皮剥ぎ



下層植生の消失



土砂流出

【参考①】シカ等野生鳥獣による森林被害への対応(2/2)



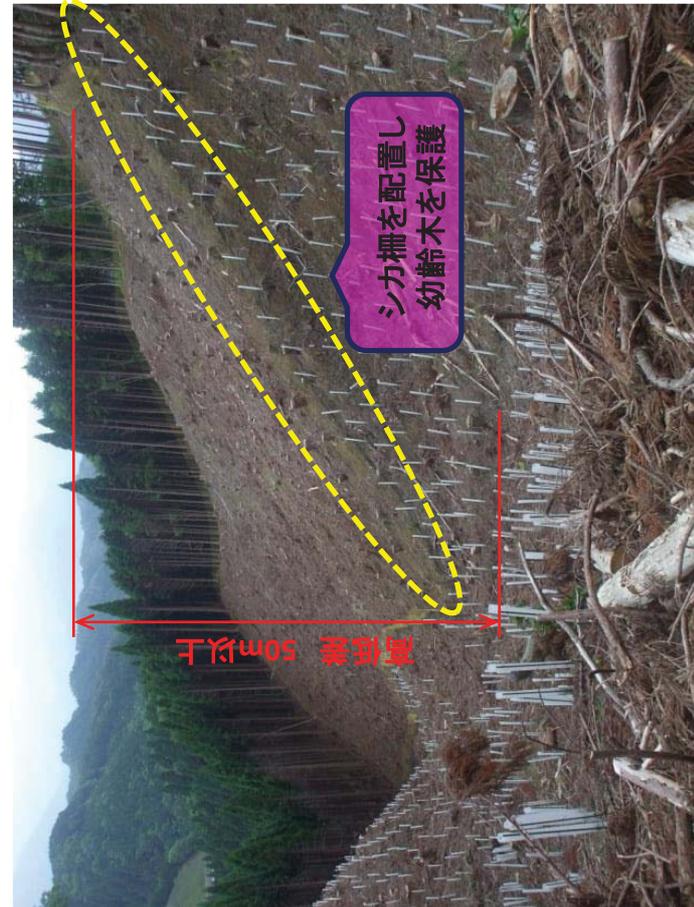
天然林内の下層植生の状況



人工林間伐2年後の下層植生の状況

工作物(獣害防護柵)の高さが50メートル以上

被害防止対策(獣害防護柵)



シカ柵の網の色は薄い黄色を採用し、景観に配慮

